

[成果情報名] 双方向型の花き病害データベースが開設される

[要約] 花きの新病害の調査情報と既知の病害情報を元に、花き病害データベースとして花き病害図鑑が Web 上に公開された。ID 付与により病害診断依頼も可能な双方向型システムとなる。

[キーワード] 花き 病害 データベース web

[担当] 静岡農林研・生産環境部

[代表連絡先] 0538-36-1556 電子メール agriseisan@pref.shizuoka.lg.jp

[区分] 関東東海北陸農業・関東東海・病虫害(病害)

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

花き類は約 400 科 5000 種が栽培され、これまでに約 1300 種類の病害発生が報告されているが、未同定のまま放置されている病害が多く、現場では対応に苦慮している。

このため花きの新病害を調査、得られた情報と既知病害の情報を加え、総合診断・同定システムとしてデータベース化し、ウェブで公開、花き生産関係者が情報収集できるようにする。

[成果の内容・特徴]

1. 静岡県内で発生した花きの新病害として 11 件を確認し、病名の提案を行った。
2. 平成 20 年 2 月より「花き病害図鑑」として、下記 URL にて公開された。
<https://kakibyو.dc.affrc.go.jp/>

[成果の活用面・留意点]

1. 新病害の菌種、発生生態が確認されることで、菌種にあった防除方法が取ることができるとなる。
2. 病名登録が行われることで、花き類に登録された農薬の使用が可能になる。
3. データベースは病害診断依頼を含め、双方向型として運営される。病害図鑑についてはフリーで誰でも閲覧できるが、診断依頼については ID 付与の形で研究員、普及員等の指導者を対象に開設される。

[具体的データ]

第 1 表 県内における花き新病害調査結果

植物名	病名	病原菌
ガーベラ	茎腐病	<i>Rhizoctonia solani</i> AG4
ガーベラ	ピシウム根腐病	<i>Pythium helicoides</i>
ガーベラ	花腐病	<i>Alternaria tenuissima</i>
クルクマ	立枯病	<i>Pythium myriotylum</i>
クルクマ	茎腐病	2核 <i>Rhizoctinia</i> AG-G
クルクマ	茎腐病	2核 <i>Rhizoctinia</i> sp.
スイートピー	立枯病(病原追加)	<i>Pythium ultimum</i> var. <i>ultimum</i>
ドラセナ	根腐病	<i>Pythium graminicola</i>
ムラサキオモト	株腐病	<i>Pythium myriotylum</i>
ディネマ	疫病	<i>Phytophthora palmivora</i>
ステラ	茎腐病	<i>Rhizoctonia solani</i> AG1 1A



第 1 図 公開データベース「花病害図鑑」
(左)トップページ(右)病害シート(例)

[その他]

研究課題名：花き類新病害の分子診断・防除システムの開発

予算区分：国庫

研究期間：2006～2008 年度

研究担当者：鈴木幹彦、市川健、内山徹、外側正之